

町内会だより 3号

2024年6月号

【町内会の理念：地域共助＋福祉＋親睦＋環境】

南本町町内会

観桜会（木古内）幕末から明治、激動の時代咸臨丸の 眠るサラキ岬…18名の会員で楽しいひと時を過ごしました。

天候にも恵まれた5月26日（日曜日）つば八ななえ店駐車場から七飯町のバス運行をお願いして、木古内郷土資料館（いかりん館）～サラキ岬(咸臨丸の眠る海)～のとや（昼食）～木古内道の駅（みそぎの郷きこない）～午後3時つば八ななえ店に戻ってきました。



いかりん館では40分前後、郷土資料館学芸員のスライドを見ながら説明を聞いて、咸臨丸の歴史…今から160年前オランダで軍艦として建造され、幕末、勝海舟、福沢諭吉など100名を乗せてアメリカで大統領と謁見(日米修好通商条約批准書交換)しました。

徳川幕府の時代が終わり、明治時代、咸臨丸は輸送船として北海道開拓の人々と荷物を運ぶ役割を担い、明治4年、北海道開拓のため11月の寒い中、北海道開拓で入植の途中、嵐に巻き込まれサラキ岬で咸臨丸座礁沈没に遭いましたが、全員無事で札幌市白石区（宮城県白石から移住現在の地名の由来）に入植、明治5年2月には380名が白石仙台から移り住んだということです。七飯町でも七飯官園〈明治3年〉ができたことから北海道開拓の気運が高まった時代でした。



郷土資料館の後、咸臨丸の座礁沈没した
サラキ岬を見学



のとやで美味しい昼



木古内道の駅



第一回役員会報告

第1回役員会を(5月17日金曜日午後5時)本町振興会館で5月26日の観桜会を中心に協議しました。

また、事業で計画しておりました、10月5日のお楽しみ会(健康体操)がインストラクターの都合で中止になって、社会福祉協議会から室内ゲームを借りて実施することになりました。

今後の予定は6月16日の駅前通り清掃作業(環境整美の日)、7月14日の本町振興会館清掃当番を行うことと、赤十字共同募金を町内会会計から

30,000円支出することで決定しました。



環境を守る : 町内会資源ゴミ回収日は



6月1日(土曜日)

**☆☆資源ゴミは町内会の活動財源
になります!! ☆☆☆**

**町内会みんなで、ゴミ分別・減量の意識を強く
持ちましょう!**

環境整美の日

6月16日(日)

午前9時集合

駅前通り街路樹草刈り

周辺清掃に参加してく

がよかったです

